

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

- 地域コーディネーター（1名）
山車保存会会長、敦賀市相生町区長
- 主任児童委員（1名）
- 同窓会副会長（1名）
- 地区区長、区長会長（3名）
- 地区婦人会長（1名）
- 地区公民館館長、区長、主任児童委員（1名）
- PTA会長（1名）

(2) 協議会の内容

- 第1回 家庭・地域・学校協議会
・6月27日（木）13：30～
[協議内容]
・学校経営方針 ・学校生活の紹介
・地域と進める体験推進事業について
- 第2回 家庭・地域・学校協議会
※校区3小学校との合同開催
・12月12日（木）13：30～
[協議内容]
・角鹿小中学校開校への進捗状況について
 - ① 現時点での工事関係の見通し
 - ② 現段階での決定事項
 - ③ 各校の来年度～開校前後の行事計画

(3) 協議会における成果と課題

令和3年度の統合に向けて、校区全体で情報を共有することができた。令和2年度は各小学校の閉校に向けての活動を協力し合って進めていく。

また、令和3年度について決定していくことが課題として共有できた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

生徒が、地域の一員として、地域行事への参画を考え行動する場を持つ。また、地域の様々な世代の方と交流し、ふるさとに対する思いを深め、ふるさとづくりの意欲や関心、態度を育てる。

(2) 活動の実際

①敦賀まつり「山車巡行」への参画



山車の組立、武者人形の作成準備に参加
(2年生)
8/18、8/25
約30名参加

生徒たちは、敦賀の代表的な伝統継承に、自分たちの力を役立てることができている自信や誇りを感じ、完成時には大きな成就感を得ることができていた。



○敦賀まつり「山車巡行」(9/4)
(全校生徒)

昨年度は台風で中止となったため、経験しているのは3年生だけであった。当日生徒玄関前で、山車を曳く際の掛け声の練習を行い、出発式を行った。

全校生徒が、東町山車、観世屋町山車、鶉飼ヶ辻山車、その他自分の町内の山車に別れて巡航した。午前中、各町内を巡航し、昼には神宮前に6基の山車が集合し、全校生徒が集合した。



②敦賀西町「夷子大黒綱引き」への参画(1年生)

本校の1年生約20名が、夷子大黒綱引きに使われる「大綱」のもとになる藁を束ねて作る「玉」を造るお手伝いをした。国の指定重要無形民俗文化財であり、約400年の伝統行事である「夷子大黒綱引き」について、地域の方から教えていただいた。

19日(日)の本番にも、自主的に多くの1年生が参加していた。

③ふるさと探検・観光つるが検定受験に全員で挑戦(1年生)11月

敦賀市立博物館の学芸員と敦賀観光協会の方を講師に招き、「観光つるが検定受験のための講習」を受講した。この講習会の学びをもとに全員で「観光つるが検定初級」を受験した。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

6月の「山車、夷子大黒綱引き」参画の打合せに始まり、保存会の方々との打合せや山車の準備等、生徒との打合せにご協力いただいた。

(4) 特に工夫した事項

本年度は、生徒会を中心に本校の「地域と進める体験活動」を発信できた。手作りの「私たちの大好きなまち敦賀」は県の「ふるさと学習ニュース」にも掲載され、県内全ての小中学校に発信することができた。

(5) 成果と課題

継続的な活動を進めながら、自分たちなりにまとめて発信できた。また、1年生が体験調査活動によるふるさと学習をスタートし、「観光つるが検定初級」に19人が合格できた。

来年度は、1年生がどのように学びを発展させるかが課題である。また、生徒自身がより主体的に地域貢献を工夫・実践できるようにしたい。



(様式3)

令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

敦賀市立角鹿中学校

(様式3)

令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

敦賀市立角鹿中学校